

令和5年度 小規模多機能型居宅介護サービス評価総括表

法人名	社会福祉法人 真宗協会	代表者	理事長 朝日 順悟	法人・ 事業所 の特徴	・誰もが安心して暮らせる地域づくりと高齢者が住みなれた地域で安心して、尊厳のあるその人らしい生活が継続できるよう「通い」「訪問」「宿泊」の介護サービスを提供することにより、在宅生活の延長として利用者本位・自立支援のサービス提供に努め、相手に寄り添う真なる心のサービスを実践します。 ・併設されている地域密着型介護老人福祉施設及び介護老人福祉施設、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等の関連機関や、近隣地域住民との連携を円滑に図りながら、地域に根ざした事業所づくりを実践しております。また、地域貢献活動として地域交流や市民の笑顔溢れる帯広市高齢者いきいきふれあい館「まちなか」の運営の支援など地域の健康づくりに貢献します。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 光輪	管理者	吉田 元		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	3人	2人	2人	1人	0人	7人	0人	15人

項目	令和5年度改善計画	改善計画に対する取組み・結果	ご意見	令和6年度の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所自己評価をわかり易く記載する。 ・職員会議等でサービス評価や顧客満足度調査の結果を振り返り、サービス品質の改善に取り組んでいく。 ・不適切ケア防止や自己評価の学習会を開き、理解や意思統一を図る。 ・感染症発生ゼロの目標と合わせてBCP(事業継続計画)研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所自己評価については学習会を開催する等、継続して取組み、分かりやすい表現に務めました。また、当サービス評価・顧客満足度調査の結果を元に、日々、サービス内容の向上に務めました。 ●H30年から取組みを始めた「不適切ケアゼロ」は今年度より部門計画から部門理念に掲げ、研修等全員で取り組むことができました。今年度は2件の事例がありました。(1/17現在) ●R5.11に自然災害及び感染症BCP(第1版)を策定し、研修会等を実施しました。R6.1に職員・利用者様(計6名)のコロナ感染がありましたが、クラスター(10名以上)には至らず終息出来ました。また、BCPを基軸に短時間のデイサービスは受入れ継続し、今後、現場(サービス)に即したBCPを随時アップデートして参ります。 ●R6.3.1、運営規程変更に併せ、①身体拘束等適正化、②ハラスメント防止、③感染症の予防及びまん延防止、④人権の擁護及び虐待防止についての指針改訂を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■改善評価にかかわり、スタッフ全員で、多くの時間と労力を費やし真摯に的確に取り組んでいること、素晴らしいと思います。出来れば評価項目など、多忙感の軽減のためにスリム化を図ることも一考かと思えます。 ■不適切ケア防止の取組みも、できている現状があり、職員の意思統一が図られ実施できていると感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス評価(自己評価・外部評価)における評価項目について見直し(スリム化)を行い、被評価者等の負担の軽減を図ります。新規 ・新しく改定した運営規程や各指針(①身体拘束等適正化、②ハラスメント防止、③感染症の予防及びまん延防止、④人権の擁護及び虐待防止等)に基づき、研修会や委員会を開催し、不適切ケアゼロ等、これまでの取組を継続しつつ、更なる介護サービスの質の向上に取り組めます。新規
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様に常に季節を感じていただけるよう毎月施設内の装飾・整備を行う。 ・事業所に入りやすいように、ガーデニング等玄関周りの外観を整え、居心地の良い、明るい環境作りを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度も玄関前にたくさんの鉢植え等、ガーデニングを実施しました。 ●利用者様にも季節毎に飾りを作成していただき、玄関前や室内を装飾しました。 ●今年はスタッフがガラスアートにも取り組み、敬老会、Xmas、新年など、季節感を出すことを心がけました。また、その様子を随時、SNS(Facebook)に投稿し、紹介しました。 ●コロナ感染発生時以外は、面会を全面解除し、ご家族がいつでも自由に面会出来るよう対応しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設内の掲示物、装飾等や、花壇の管理など、どれも継続的にしっかり維持していく事が大切ですね。職員の手造りの温かみのある掲示物・装飾、楽しさと生きがいのある良き環境づくりを、これからも広げていって欲しいですね。 ■利用者様と職員で作っている花壇や行事の写真で拝見した事業所内の飾りつけから、季節を感じられる場所になっていたと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者に季節を感じていただけるよう、毎月施設内の装飾・整備を行います。継続 ・ガーデニングやガラスアート等、玄関周りの外観の整備を継続して行い、どなたが来所されても入りやすい環境を作ります。継続 ・SNSにも随時利用者様と職員が一緒に行った環境整備の様子を投稿し、来所が困難な遠方のご家族様等にも安心して頂けるよう発信していきます。継続

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況を注視しながら、施設内の認知症カフェ「天使のひろば」や地域サロンに参加する。 ・利用者様のご家族や地域の方に気軽に参加していただける懇親会や行事を実施していく。 ・感染症対策をしっかり行っただうえで、ボランティアなどの受け入れを再開する。 (笑いヨガ、音楽療法等) <p>※新型コロナの発生状況により変更</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症カフェは営業を停止しているため、参加は出来ませんでした。今後も営業の見通しは無いため、計画の変更が必要。また、地域サロンへの参加は人員の関係で参加出来ませんでした。 ●地域の皆様にも参加を頂く「至心寮大感謝祭」は、感染対策の為今年度も中止となりましたが、多機能では12月に4年ぶりにご家族にも参加して頂く、忘年会を開催しました。 ●今年度、ボランティアの都合が合わず、受け入れに至りませんでした。上記忘年会行事の新聞記事を見て、ボランティアの申し込み連絡がありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■コロナ禍、全ての行事が制約された中でも、職員一同の細心の工夫・努力、気配りによって、平時と変わりなく安全に完璧に実施し、利用者にとって、楽しい行事を構築されたこと、大いに評価できると思います。 ■日々の事業所および利用者様の様子をSNSや動画で配信したり、FMラジオで事業所について発信する良い取り組みをされていると思います。感染症の影響から実現することが出来なかった取り組みも残念ながらもありませんが、利用者様の生活の質の向上のために、安全に多くの行事を開催している点が素晴らしいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症の状況にもよるが、感染症対策をきっちりとし、地域行事への参加や感謝祭など地域行事が再開できるよう準備をしていきたい。また地域とも連携し、地域交流をよりよいものにしていきたい。 新規 ・感染症対策をしっかり行っただうえで、ボランティアなどの受け入れを再開する。継続 (踊り、笑いヨガ、音楽療法等) ・引き続きSNSやラジオを活用し事業所のサービスや取り組みについて多くの方に発信していく。継続
<p>D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい認知症ケア「モンテッソーリケア」を導入し、勉強会を開催します。 ※「モンテッソーリケア」とは、認知症ケアと幼児教育に取り入れられている「モンテッソーリ教育」を組み合わせたものであり、ご利用様が自分で活動を選択し、自分のペースで行えるように支援するケアのことをいいます。 ・すべての利用様が自ら選択、率先して行動し、やりがいを感じていただける環境づくりを行い、「その人らしく生きる」支援をしております。 	<ul style="list-style-type: none"> ●R5.4.21、全職員を対象に「モンテッソーリケア勉強会」を実施しました。 ●R6年度の活動に向け、一般社団法人日本モンテッソーリケア協会(岡山県本部)の入会年会費を予算計上しました。 ●R6.3に「モンテッソーリケア事例検討会」を開催予定としています。 ●職員からモンテッソーリケアの一環で、利用者様が自ら取り組んだ創作品(毛糸のぬいぐるみ、着せ替え人形の衣装など)をインターネットのフリーマーケットサイトで販売し、その収益の一部を被災地に寄付をしてはどうか?という提案がありました。事例検討会で内容を深め検討していきたいと思います。 ●R6.12からモンテッソーリケア理念の延長として、多機能開設後初となる、事業所内での「看取りケア」を開始しました。(別紙、看取りの指針・同意書等参照) 現在、職員の研修の他、ご家族・医療機関等と連携し実践しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ■昨年度から、介護全般の基本理念を「自己教育力」「自己実現」と捉え、研修・実践を進めています。新しい理念の理解や定着には時間がかかります。担当職員等の熱意と意欲で、入所者側に立った、よりよき介護が進められますよう期待しています。 ■利用者様個人個人に寄り添い理解し、「その人らしさ」を引き出し表現するための支援の取り組みは素晴らしいことだと思います。事業所外での利用者様の活動を支援する取り組みも実施されました。又、ご近所の心配な方を気にかけて、地域包括支援センターと連携して見守る取り組みが実施されていきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度より新しい取り組みとして認知症ケア「モンテッソーリケア」について勉強会等を開催し取り組みの準備を行ってきたが、R6年度より、全国モンテッソーリケア協会(本部:岡山県)に加盟し、全国の実践施設やオンライン研修会等に参加し、本格的な実践を行います。充実 ※「モンテッソーリケア」とは、認知症ケアと幼児教育に取り入れられている「モンテッソーリ教育」を組み合わせたものであり、ご利用様が自分で活動を選択し、自分のペースで行えるように支援するケアのことをいいます。 ・モンテッソーリケアなど、すべての利用者様が自ら選択、率先して行動し、やりがいを感じていただける環境づくりを行い、「その人らしく生きる支援」をしております。また、その延長線上である「看取りケア」も実践していく。充実
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議にて利用状況や行事報告等を行い、事業所の取組みを知って頂き、地域の課題についても一緒に検討する機会とする。 ・感染状況を見ながら、地域に開かれた事業所運営を目指します。 ・家族懇親会を検討していきます。 <p>※新型コロナの発生状況により変更</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●毎回の運営推進会議にて、多機能の利用者状況、事故発生、行事等を報告行い、事業所の取組みを知って頂きました。 ●Facebookを活用し、事業所の日々の様子を随時紹介しました。 ●単独での家族会の開催は出来ませんでした。が、上記忘年会行事ではご家族も参加して頂き、交流の機会となりました。 ●地域課題については、積極的な検討や課題の情報共有、提言が出来なかった為、次年度の課題としたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ■定期的な運営委員会の提言は、丁寧であり、内容も分かり易く、綿密である。職員の多忙化、人材確保等、課題はあると思いますが、自立支援の環境を整備するためにも一層の工夫と対策を望みます。 ■運営推進会議では、実際の事例についての支援経過をご報告頂き、事業所がどの様にご利用様と関わっているか知る事が出来ました。今後は地域の方の事例についてや、課題についても、検討や話し合える場となることを期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議にて利用状況や行事報告等を行い、事業所の取組みを知って頂く。継続 ・地域の課題の抽出や地域と協働した取組み等を話し合う場として、運営推進会議を有効活用していく。継続 ・運営推進会議に管理者以外の介護リーダーも参加し、自立支援の取組等、より情報発信ができるよう取組みます。新規

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で防災訓練の案内や報告を行い、地域の方にも消火器、搬送訓練等に参加して頂く機会を設ける。 ・災害時の自助・公助・近隣との連携など、地域の防災体制や対策について話し合いの場を持つ。 ・防災に係る研修会の合同開催や訓練への参加人数を拡充していく。 <p>※新型コロナの発生状況により変更</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●R5.7.19、運営推進会議に合わせて、第1回避難訓練を開催し、推進委員の皆様には訓練の様子や消火訓練に参加して頂きました。また、町内会の皆様にも訓練のご案内をさせて頂きました。 ●第2回の避難訓練に合わせて通報・消火器訓練(7/27)と夜間想定web研修(12/16)を実施しました。 ●災害対応BCP(第1版)の策定も終わっていますが、更にシミュレーションを重ね「奇跡ではなく訓練」をモットーに災害対策に取り組みたいです。 ●R6.3.3.12、風水害に対する非難訓練として、市役所危機対策課の職員を講師に防災講話を開催し、4名の職員が参加しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■事業所の防災訓練に参加させていただいて、安心したと同時に大変勉強になりました。ありがとうございました。 ■災害は時を選ばず。緊急時、不在職員がいることも考え、だれもがどの部署でも行動ができ熟知していることや、互いにカバーできる関係を作っておくことも大切です。 ■繰り返し実践に近い訓練が行われており、実際に災害が起きた時に地域の拠り所になりえると思います。その危機感を継続し、備えを徹底することで、安心にも繋がります。現在の取り組みを継続していただきたいと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度に作成したBCPを元にしたシミュレーション訓練と課題点を協議してアップデートを行います。新規 ・法人全体としてBCPにおいても災害発生時における地域連携が必要となることから、地域の協力を仰ぎ、非常災害時における協力体制について検討をしていく。新規 ・運営推進会議で防災訓練の案内や報告を行い、地域の方にも消火器、搬送訓練等に参加して頂く機会を設ける。継続 ・防災に係る研修会の合同開催や訓練への参加人数を拡充していく。継続
----------------------------	--	---	--	---

